

## 平成28年度第3回秦野市廃棄物対策審議会概要

- 1 日 時 平成29年2月14日（火）午後2時～2時50分
- 2 場 所 秦野市役所本庁舎4階議会第1会議室
- 3 出席者 9名
- |                     |         |
|---------------------|---------|
| 東海大学 早稲田大学 中央学院大学講師 | 原田 一郎 氏 |
| 秦野市自治会連合会           | 前田 弘和 氏 |
| 東海大学教養学部人間環境学科准教授   | 小栗 和也 氏 |
| 多摩大学グローバルスタディーズ学部教授 | 橋詰 博樹 氏 |
| 秦野市商店会連合会           | 中島 正彦 氏 |
| 神奈川県宅地建物取引業協会       |         |
| 湘南中支部秦野地区           | 石田 岳志 氏 |
| 秦野市PTA連絡協議会         | 内海 純子 氏 |
| 秦野市食生活改善推進団体        | 古谷 典子 氏 |
| 公募市民                | 松岡 守 氏  |

### 4 会議概要

#### (1) 秦野市ごみ処理基本計画（案）について

##### ア 委員からの意見1（資料2）

資料2の「提出された意見の取扱い」について、「B 意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの」の意見が出てくるということは、市民に対して周知が十分でないのではないのでしょうか。それに対して対策を考えていますか。

##### イ 意見1に対する事務局からの回答

パブリック・コメントは実施していますが、計画（案）そのものが周知されていないということだと思います。本計画を策定し、ごみの減量における施策を実施する際に、さまざまな広報媒体や自治会説明会などを行い、周知していきたいと考えています。

##### ウ 委員からの意見2（資料2）

パブリック・コメントの回答はどのように行っていますか。

##### エ 意見2に対する事務局からの回答

回答は、ホームページに掲載しています。

##### オ 委員からの意見3（資料1～3）

答申の内容についてですが、「1 草類の資源化を進めて、早期に、は

だのクリーンセンター1施設で安定的にごみが処理できる体制をとるよう努めること。」「2 家庭ごみの有料化について、中間目標年度までのごみの排出量が重要となるため、平時から計画の推計値と実績の達成状況等を広く市民に周知し、具体的な手法の検討に当たっては、収集方法や料金設定をはじめ、市民サービスの向上に向けた施策を導入すること。」「3 災害廃棄物について、現在の災害廃棄物等処理計画の仮置き場、処理体制、最終処分体制を見直し、早期の復旧・復興のための体制を整備すること。」については、今回の最終案でも内容を反映してありますが、この3つは、計画の最も重要課題だと思いますので、しっかりと取り組まれるよう要望として答申に盛り込んでいただきたいと思います。

カ 委員からの意見4（資料1～3）

賛成いたします。また、この計画の副題では、「市民の意識改革で環境先進都市を目指す」とあります。しかし、この計画からはそこまで強くキーワードである「市民の意識改革」といったことを感じる事ができないので、計画の巻頭言などで、意識改革を訴えるようなことをいれてもらえると良いと思います。

キ 委員からの意見5（資料1～3）

これはスローガンだと思います。スローガンとして盛り立てていくため、啓発、広報活動の中でも、しっかりとこのスローガンを打ち出していくよう検討していただきたい。

ク 委員からの意見6（資料1～3）

今回の答申の3つ要望については、その内容をあいさつ文に盛り込むなど、審議会の意見として計画に反映していただきたい。

ケ 意見6に対する事務局からの回答

答申書につきましては、写しを計画に掲載いたしますので、そういった形で審議会の皆様の御意見は計画に盛り込むこととなります。